

表1 H21かかりつけ医対象糖尿病診療に関するWeb調査

【別紙 調査票】

糖尿病診療に関するアンケート
かかりつけ医対象

本アンケートは、糖尿病患者さんに対する現状の診療と先生方が**理想的**と考えられる診療における先生方の人的資源の投入量とそれを規定する因子を知る目的で実施するものです。
以下の質問に可能な限りご回答が戴ければ幸いです。

注：理想的な診療時間*又は理想的な必要時間*：実際の診療時間ではなく、少なくとも糖尿病診療ガイドラインに沿った診療を理想的なチーム医療（CDMを含む）で行った場合に、先生ご自身が必要と考える診療時間又は必要時間をご記入ください。
↑上記3行は、該当の画面全てに、下に表示させる。

1. 以下の患者数をお教え下さい。
注) 同じ患者を月に2度診療する場合は、2人とカウントして下さい

	1ヶ月あたり
[1] 1ヶ月の平均的総外来診療患者数(糖尿病患者のみならず全ての患者数)	人
[2] 1ヶ月の糖尿病患者数	人

※[1]≧[2]
※[1]が100未満であれば終了。[2]がゼロであれば終了。
※[1]に占める[2]の割合が81%以上の場合、終了。

2. 先生ご自身は、日本糖尿病学会に「日本糖尿病学会専門医」として認定されていますか。
○はい →終了
○いいえ

【別紙 調査票】

3. 先生ご自身の外来診療における1ヶ月間の平均的な**初診患者数**と、その際に**先生ご自身**がそれぞれの患者一人当たり**に使用される平均的な診療時間**と**理想的な診療時間***をお知らせください。

	3-1	3-2	3-3
	糖尿病初診患者数	平均診療時間	理想的診療時間*
① 検査で耐糖能異常を指摘され受診	___人/月	___分/人	___分/人
② 糖尿病の自覚症状のため自己受診	___人/月	___分/人	___分/人
③ 自院の検査で偶然に見えられた	___人/月	___分/人	___分/人
④ 他院からの紹介	___人/月	___分/人	___分/人

↑其々、上限は Q1[2]。0人の場合、分は遷移時に…に変換
↑上限はなし
↑上限はなし

4. 先生ご自身の外来診療における1ヶ月間の平均的な**再診糖尿病患者数**とそれぞれの患者一人当たりの**先生ご自身**の平均的な**診療時間**と**理想的な診療時間***を主たる**診療目的別**にお知らせください。
(①②③の人数合計は、月間の糖尿病患者総数 [Q1[2]の回答を引用]以下となります)

	4-1	4-2	4-3
	糖尿病再診患者数	平均診療時間	理想的診療時間*
① 合併症なしの糖尿病治療	___人/月	___分/人	___分/人
② 他疾患の診療中に併発した糖尿病治療	___人/月	___分/人	___分/人
③ 合併症をもつ糖尿病の治療	___人/月	___分/人	___分/人

↑其々、上限は Q1[2]。0人の場合、分は遷移時に…に変換
↑上限はなし
↑上限はなし

【別紙 調査票】

5. 先生ご自身の外来診療における1ヶ月間の平均的な**糖尿病再診患者**の治療内容とそれぞれの患者一人当たりの**先生ご自身**の平均的な**診療時間**及び**理想的な診療時間***をお知らせください。

	5-1	5-2	5-3
	糖尿病再診患者数	平均診療時間	理想的診療時間*
① 食事療法、運動療法のみ	___人/月	___分/人	___分/人
② 経口糖尿病薬	___人/月	___分/人	___分/人
③ インスリン療法 (40%以上経口併用療法を含む)	___人/月	___分/人	___分/人

(導入時)

④ インスリン療法のみ	___人/月	___分/人	___分/人
⑤ インスリン+経口薬併用	___人/月	___分/人	___分/人

↑其々、上限は Q1[2]。0人の場合、分は遷移時に…に変換
↑上限はなし
↑上限はなし

6. 経口糖尿病薬の選択に関して、糖尿病患者のインスリン抵抗性及びインスリン分泌能を考慮していますか。
① () 考慮していない。 ⇒Q8へ
② () インスリン分泌能のみ考慮している。 ⇒Q7へ
③ () インスリン抵抗性のみ考慮している。 ⇒Q7へ
④ () 両方考慮している。 ⇒Q7へ

7. 前問で考慮しているとお答えした先生にのみお伺いいたします。その際に用いられる指標をお知らせください。(複数回答可)
① () 血清インスリン値
② () 血清C-ペプチド値
③ () 尿中C-ペプチド値
④ () HOMA-R
⑤ () HOMA-β
⑥ () その他

8. 下記の検査に関して、**先生ご自身**又は**コメディカルスタッフ**が**関わる**検査項目ごとの所要時間、1カ月当たりの人数をお知らせください。
注1) 単に指示する行為は含まれません
注2) いらない場合はゼロをご記入下さい

	医師が直接かかわ	医師が直接かかわ	コメディカルの
	___人/月	___分/人	___分/人

【別紙 調査票】

	る患者一人当たり の所要時間	る患者数	かわる患者数
1 糖尿病診断のための75g経口糖負荷試験	___分/人	___人/月	___人/月
2 眼底検査	___分/人	___人/月	___人/月
3 尿検査	___分/人	___人/月	___人/月
4 神経障害のための検査	___分/人	___人/月	___人/月
5 心電図検査	___分/人	___人/月	___人/月
6 頸動脈エコー	___分/人	___人/月	___人/月

↑上限なし
↑其々、上限は Q1[2]。0人の場合、医師の「分」は遷移時に…に変換

9. 糖尿病診療に関して、先生はどの時期に**糖尿病専門医**へ御紹介されますか？(複数回答可)
① () 紹介しない
② () 糖尿病専門医と病診連携している
③ () 薬物療法が必要な糖尿病患者
④ () インスリン療法が必要な糖尿病患者
⑤ () 血糖管理が不良な糖尿病患者
⑥ () 糖尿病性網膜症が発症した糖尿病患者
⑦ () 糖尿病性腎症が発症した糖尿病患者
⑧ () 糖尿病性神経障害を併発している糖尿病患者
⑨ () 糖尿病性大血管障害を併発している糖尿病患者
⑩ () その他 ()

10. 糖尿病性網膜症に関して、先生は糖尿病性網膜症の評価にどの時期に**眼科**へ御紹介されますか？(択一)
① () 糖尿病初診時から眼科に紹介し、眼底の経過観察を依頼する。
② () 眼底検査のスクリーニングは自科で施行し、単純性網膜症の段階で眼科に紹介する。
③ () 眼底検査のスクリーニングは自科で施行し、増殖性網膜症の段階で眼科に紹介する。
④ () その他 ()

11. 糖尿病性腎症に関して、先生は糖尿病性腎症のどの時期に**腎臓内科**もしくは**透析科**へ御紹介されますか？(択一)
① () 微量アルブミン尿 (30mg/gCr以上) となった時
② () 顕性蛋白尿が認められた時
③ () 血清Crが上昇した時
④ () 透析療法導入が必要と考えた時

【別紙 調査票】

⑤ () 紹介しない
⑥ () その他 ()

12. 心血管合併症に関して、先生は、どの時期に循環器科へ御紹介されていますか？(複数選択可)
 ① () 糖尿病初診時ルーチン
 ② () 心電図異常で虚血性変化を認めた時
 ③ () 負荷心電図で虚血性変化を認めた時
 ④ () PWV、CAVI、脈動脈エコー等の検査で異常を認めた時
 ⑤ () 虚血性疾患を疑わせる症状を認めた時
 ⑥ () 先生ご自身で、治療する
 ⑦ () その他 ()

13. 看護師等のコメディカルスタッフがそれぞれの患者一人当たりの糖尿病患者の診療補助に使用する平均的な所要時間と理想的な必要時間*をお知らせください。

	13-1	13-2	13-3
	糖尿病患者数	平均診療時間	理想的診療時間*
① 初診患者の間診	_____人/月	_____分/人	_____分/人
② 食事療法、運動療法のみ再診	_____人/月	_____分/人	_____分/人
③ 経口糖尿病薬のみ再診	_____人/月	_____分/人	_____分/人
④ インスリン療法再診 (1/2の1+経口剤併用療法を含む)	_____人/月	_____分/人	_____分/人
(導入時)			
⑤ インスリン療法のみ	_____人/月	_____分/人	_____分/人
⑥ インスリン+経口薬併用	_____人/月	_____分/人	_____分/人
	↑其々上限は Q1/Q2。0人の場合、分は遷移時に…に変換		↑上限ナン

14. 先生のご施設における日本糖尿病療養指導士 (CDE-J) 数
および地域糖尿病療養指導士 (LCDE) 数をお知らせください。
※いない場合はゼロをご記入下さい。
 (CDE-J) _____人
 (LCDE) _____人 ※入力値制限ナン

15. 先生は、どの程度の糖尿病患者を糖尿病専門医が糖尿病診療すべきとお考えですか？(複数回答可)
 ① () すべての糖尿病患者
 ② () 糖尿病以外の動脈硬化危険因子を1つ持っている糖尿病患者

【別紙 調査票】

③ () 糖尿病以外の動脈硬化危険因子を2つ以上持っている糖尿病患者
 ④ () メタボリックシンドロームを合併した糖尿病患者
 ⑤ () 糖尿病性網膜症を合併した糖尿病患者
 ⑥ () 糖尿病性腎症を合併した糖尿病患者
 ⑦ () 糖尿病性神経症を合併した糖尿病患者
 ⑧ () 心血管障害を合併した糖尿病患者
 ⑨ () 脳血管障害を合併した糖尿病患者
 ⑩ () 1型糖尿病患者
 ⑪ () 2型糖尿病患者
 ⑫ () インスリン療法を導入する糖尿病患者
 ⑬ () インスリン治療中の糖尿病患者
 ⑭ () 薬物治療が行われている糖尿病患者
 ⑮ () その他 ()

前問でお答えいただいた疾病のみを表示

16. 糖尿病専門医が糖尿病診療すべきとお考えになる症状について、その具体的な程度をお答え下さい。

・網膜症の程度：(①)単純性網膜症期以降、(②)増悪性網膜症期以降、(③)増悪性網膜症期以降、(④)その他(プルダワンで…を選択)

・腎症の程度：(①)微量アルブミン尿(30mg/gCr以上)出現時期以降、(②)顕性蛋白尿出現時期以降、(③)血清Crが上昇時以降、(④)透析療法導入時期(プルダワンで…を選択)

・神経症の程度：
 末梢神経障害
 自律神経障害
 有痛性神経障害
 上記以外

・心血管障害の程度：
 自覚症状のみ
 狭心症
 心筋梗塞の既往あり

・脳血管障害の程度
 頸動脈エコー…PWVで所見あり
 TIA

【別紙 調査票】

脳探察の既往あり(機能障害なし)
 脳探察の既往あり(機能障害あり)
 上記以外

最後に、本アンケート結果を統計的に取りまとめるため、以下の質問にもご回答下さい。
※1 ページで表示

17. ・卒後 [] 年 ※入力値制限ナン

18. ・性別：
 男性
 女性

19. ・先生がもっともご専門とされる診療科をお知らせ下さい。▼プルダワンで一つ選択

1. 一般内科
2. 消化器内科
3. 循環器内科
4. 呼吸器内科
5. 神経内科
6. アレルギー・膠原病内科
7. 腎臓内科
8. 血液内科
9. 内分泌内科
10. 外科
11. 放射線科
12. 麻酔科
13. 眼科
14. 皮膚科
15. 泌尿器科
16. 産婦人科
17. その他 ()

20. ・先生は、もっともご専門とされる診療科の専門医資格を取得されていますか。 []

【別紙 調査票】

() 取得している。
 () 取得していない。

21. ・先生の勤務先の所在地 ▼プルダワンで一つ選択

01.北海道 02.青森 03.岩手 04.宮城 05.秋田 06.山形 07.福島 08.茨城 09.栃木
 10.群馬 11.埼玉 12.千葉 13.東京 14.神奈川 15.新潟 16.富山 17.石川 18.福井
 19.山梨 20.長野 21.岐阜 22.静岡 23.愛知 24.三重 25.滋賀 26.京都 27.大阪
 28.兵庫 29.奈良 30.和歌山 31.鳥取 32.島根 33.岡山 34.広島 35.山口 36.徳島
 37.香川 38.愛媛 39.高知 40.福岡 41.佐賀 42.長崎 43.熊本 44.大分 45.宮崎
 46.鹿児島 47.沖縄

ご協力ありがとうございました。

表2 H21糖尿病医療連携調査表

糖尿病診療に関するアンケート
糖尿病専門医対象

本アンケートは、糖尿病患者さんに対する現状の診療と先生方が理想的と考えられる診療における先生方の人的資源の投入量とそれを規定する因子を知る目的で実施するものです。
以下の質問に可能な限りご回答が戴ければ幸いです。
本アンケートは、2010年1月15日までに、同封の返信用封筒にてご返送戴ければ幸いです。
注：理想的な診療時間*又は理想的な必要時間*：実際の診療時間ではなく、少なくとも糖尿病診療ガイドラインに沿った診療を理想的なチーム医療（CDEを含む）で行った場合に、先生ご自身が必要と考える診療時間又は必要時間をご記入ください。

<質問>

1. 卒後____年、 性別：男・女

2. 先生ご自身の1ヶ月間の平均的な総外来診療患者数をお知らせください。
_____人/月

3. 先生ご自身の外来診療における1ヶ月間の平均的な初診糖尿病患者数と再診のべ糖尿病患者数をお知らせください。

	初診	再診
① 1型糖尿病	_____人/月	_____人/月
② 2型糖尿病	_____人/月	_____人/月
③ その他の糖尿病	_____人/月	_____人/月

4. 糖尿病の初診患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間*をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間*
① 1型糖尿病	_____分/人	_____分/人
② 2型糖尿病	_____分/人	_____分/人
③ その他の糖尿病	_____分/人	_____分/人

5. 糖尿病の再診患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間*をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間*
① 1型糖尿病	_____分/人	_____分/人
② 2型糖尿病	_____分/人	_____分/人
③ その他の糖尿病	_____分/人	_____分/人

6. 先生ご自身の外来診療における糖尿病再診患者の治療内容とその平均的な診療時間及び理想的な診療時間*をお知らせください。

	糖尿病再診患者数	平均診療時間	理想的診療時間*
① 薬物療法（一）	_____人/月	_____分/人	_____分/人
② 経口薬	_____人/月	_____分/人	_____分/人
③ インスリン療法	_____人/月	_____分/人	_____分/人
	(導入時)		
④ インスリン療法	_____人/月	_____分/人	_____分/人

7. 先生ご自身が担当されている平均糖尿病入院患者数をお知らせください。

① 総患者	_____人/日
② 1型糖尿病	_____人/日
③ 2型糖尿病	_____人/日
④ その他の糖尿病	_____人/日

8. 先生ご自身が担当されている糖尿病の入院患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間*をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間*
① 1型糖尿病	_____分/人	_____分/人
② 2型糖尿病	_____分/人	_____分/人
③ その他の糖尿病	_____分/人	_____分/人

9. 先生のご所属施設における1日平均の糖尿病入院患者数をお知らせください。
_____人/日

10. 他科に入院されている患者で、糖尿病治療に関して、先生ご自身が関わるのべ患者数と平均的な診療時間と理想的な診療時間*をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間*
① 1型糖尿病	_____人/月 _____分/人	_____分/人
② 2型糖尿病	_____人/月 _____分/人	_____分/人
③ その他の糖尿病	_____人/月 _____分/人	_____分/人

11. 糖尿病患者に施行している検査項目に○を付けてください。

① () 眼底検査
② () 尿中微量アルブミン測定
③ () フットケア
④ () 振動覚検査
⑤ () 知覚神経伝導速度検査
⑥ () 心電図
⑦ () CV-RR 間隔測定
⑧ () PWV or CAVI
⑨ () 頰動脈エコー

12. 問11の検査に関して、先生ご自身で行っている検査項目をお知らせください。
また、その所要時間と1カ月当たりの人数をお知らせください。

① 眼底検査	_____分/人	_____人/月
② 尿中微量アルブミン測定	_____分/人	_____人/月
③ フットケア	_____分/人	_____人/月
④ 振動覚検査	_____分/人	_____人/月
⑤ 知覚神経伝導速度検査	_____分/人	_____人/月
⑥ 心電図	_____分/人	_____人/月
⑦ CV-RR 間隔測定	_____分/人	_____人/月
⑧ PWV or CAVI	_____分/人	_____人/月
⑨ 頰動脈エコー	_____分/人	_____人/月

13. 糖尿病性網膜症に関して、先生は糖尿病性網膜症の評価にどの時期に眼科へご紹介されますか？

① () 糖尿病初診時から眼科に紹介し、眼底の経過観察を依頼する。
② () 眼底検査のスクリーニングは自科で施行し、単純性網膜症の段階で眼科に紹介する。
③ () 眼底検査のスクリーニングは自科で施行し、増殖性網膜症の段階で眼科に紹介する。
④ () その他 ()

14. 糖尿病性腎症に関して、先生は糖尿病性腎症のどの時期に腎臓内科もしくは透析科へご紹介されますか？

① () 糖尿病性腎症第1期（腎症前期）
② () 糖尿病性腎症第2期（早期腎症期）
③ () 糖尿病性腎症第3A期（顕性腎症前期）
④ () 糖尿病性腎症第3B期（顕性腎症後期）
⑤ () 糖尿病性腎症第4期（腎不全期）
⑥ () 糖尿病性腎症第5期（透析療法期）
⑦ () 紹介しない
⑧ () その他 ()

15. 心血管合併症に関して、先生は、どの時期に循環器科へご紹介されていますか？

① () 糖尿病初診時ルーチン。
② () 心電図異常で虚血性変化を認めた時。
③ () 負荷心電図で虚血性変化を認めた時。
④ () PWV、CAVI、頰動脈エコー等の検査で異常を認めた時。
⑤ () 虚血性疾患を疑わせる症状を認めた時。
⑥ () 先生ご自身で、治療する。
⑦ () その他 ()

16. 先生ご自身がご所属施設のコメディカルスタッフに対する教育に要する平均的な所要時間と理想的な必要時間*をお知らせください。

	平均所用時間	理想必要時間*
① 外来看護師	_____分/月	_____分/月
② 病棟看護師	_____分/月	_____分/月
③ 薬剤師	_____分/月	_____分/月
④ 栄養士	_____分/月	_____分/月
⑤ 検査技師	_____分/月	_____分/月
⑥ 理学療法士	_____分/月	_____分/月
⑦ その他	_____分/月	_____分/月

17. 先生の御所属施設における日本糖尿病療養指導士（CDE-J）数をお知らせください。

① 施設全体	_____人
② 外来	_____人
③ 病棟	_____人

18. 先生のご所属施設における地域糖尿病療養指導士（LCDE）数をお知らせください。（先生の地域において設立されている場合）

① 施設全体	_____人
② 外来	_____人
③ 病棟	_____人

19. コメディカルスタッフが糖尿病の初診患者に対して関わる平均的な所要時間と理想的な必要時間*をお知らせください。

	平均所用時間	理想必要時間*
① 1型糖尿病	_____分/人	_____分/人
② 2型糖尿病	_____分/人	_____分/人
③ その他の糖尿病	_____分/人	_____分/人

20. コメディカルスタッフが糖尿病の再診患者に対して関わる平均的な所要時間と理想的な必要時間*をお知らせください。

	平均所要時間	理想必要時間*
① 1型糖尿病	_____分/人	_____分/人
② 2型糖尿病	_____分/人	_____分/人
③ その他の糖尿病	_____分/人	_____分/人

21. 先生は、どの程度の糖尿病患者を糖尿病専門医が糖尿病診療すべきとお考えですか？（複数回答可）

① () すべての糖尿病患者
 ② () 糖尿病以外の動脈硬化危険因子を1つ持っている糖尿病患者
 ③ () 糖尿病以外の動脈硬化危険因子を2つ以上持っている糖尿病患者
 ④ () メタボリックシンドロームを併発した糖尿病患者
 ⑤ () 糖尿病性網膜症を併発した糖尿病患者（網膜症の程度：()以上）
 ⑥ () 糖尿病性腎症を併発した糖尿病患者（腎症の程度：()以上）
 ⑦ () 糖尿病性神経症を併発した糖尿病患者（神経症の程度：()以上）
 ⑧ () 心血管障害を併発した糖尿病患者（心血管障害の程度：()以上）
 ⑨ () 脳血管障害を併発した糖尿病患者（脳血管障害の程度：()以上）
 ⑩ () 1型糖尿病患者
 ⑪ () 2型糖尿病患者
 ⑫ () インスリン療法を導入する糖尿病患者
 ⑬ () インスリン治療中の糖尿病患者
 ⑭ () 薬物治療が行われている糖尿病患者
 ⑮ () その他 ()

22. 先生は、日本糖尿病学会が認定する研修指導医（日本糖尿病学会研修指導医）ですか？

① () はい
 ② () いいえ

23. 先生のご施設は日本糖尿病学会が認定する認定教育施設（日本糖尿病学会認定教育施設）もしくは日本糖尿病学会が認定する教育関連施設（日本糖尿病学会教育関連施設）ですか？

① () 日本糖尿病学会認定教育施設
 ② () 日本糖尿病学会教育関連施設
 ③ () どちらでもない。

24. 先生のご所属施設の経営形態をお知らせください。

① () 大学病院
 ② () 国立病院機構/公立病院
 ③ () 一般病院
 ④ () その他 ()

25. 先生のご所属施設のベッド数をお知らせください。

① () 0床
 ② () 1～19床
 ③ () 20～49床
 ④ () 50～99床
 ⑤ () 100～199床
 ⑥ () 200～299床
 ⑦ () 300～499床
 ⑧ () 500床以上

26. 先生の勤務先の所在地をお知らせください（番号を記入してください） →

1.北海道 2.青森 3.岩手 4.宮城 5.秋田 6.山形 7.福島 8.茨城
 9.栃木 10.群馬 11.埼玉 12.千葉 13.東京 14.神奈川 15.新潟 16.富山
 17.石川 18.福井 19.長野 20.山梨 21.岐阜 22.静岡 23.愛知 24.三重
 25.滋賀 26.京都 27.大阪 28.兵庫 29.奈良 30.和歌山 31.鳥取 32.島根
 33.岡山 34.広島 35.山口 36.徳島 37.香川 38.愛媛 39.高知 40.福岡
 41.佐賀 42.長崎 43.熊本 44.大分 45.宮崎 46.鹿児島 47.沖縄

ご協力ありがとうございました。

表3 H21腎臓専門医対象調査表

糖尿病合併症診療に関するアンケート
腎臓専門医対象

1. 年齢 歳、性別：男・女

2. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療患者数をお知らせください。
_____人/月

3. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療における初診と再診の糖尿病患者（非糖尿病性腎疾患の偶発も含む）の総患者数（うち、糖尿病腎症患者数）をお知らせください。

初診 _____人/月 (糖尿病性腎症 人/月)
 再診 _____人/月 (糖尿病性腎症 人/月)

4. 糖尿病性腎症の初診患者（紹介患者を含む）における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人

5. 糖尿病性腎症の再診患者における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
腎症3期	_____分/人	_____分/人
腎症4期	_____分/人	_____分/人
腎症5期	_____分/人	_____分/人

6. 先生の外来から糖尿病腎症患者の月平均の入院患者数とその理由をお教えください。

ネフローゼ症候群 _____人/月
 透析導入 _____人/月
 心血管イベント 脳卒中 _____人/月 虚血性心疾患 _____人/月
 その他（足病変、感染症、悪性腫瘍など） _____人/月

7. 先生が担当されている平均の総入院患者数と糖尿病併発患者数をお知らせください。

① 総患者 _____人/日
 ② 糖尿病性腎症 _____人/日

8. 先生が担当されている糖尿病腎症の入院患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人

9. 先生の所属施設のベッド数をお知らせください。

① 0床
 ② 1～19床
 ③ 20～49床
 ④ 50～99床
 ⑤ 100～199床
 ⑥ 200～299床
 ⑦ 300～499床
 ⑧ 500床以上

10. 先生の所属診療科の1日平均の糖尿病性腎症入院患者数をお知らせください。

	総入院患者数	糖尿病性腎症
	_____人/日	_____人/日

ご協力ありがとうございました。

表4 H21透析専門医対象調査表

糖尿病合併症診療に関するアンケート
透析専門医対象

1. 年齢 歳、 性別: 男・女

2. 先生が担当される1ヶ月間の新規透析導入数とそのうちの糖尿病患者数をお知らせください。
血液透析患者 _____人/月 延べ患者数 (患者数 X 透析回数) _____人/月
うち、**糖尿病患者数 (非糖尿病性腎疾患の偶発も含む)** _____人/月

腹膜透析患者 _____人/月 延べ患者数 (患者数 X 受診回数) _____人/月
うち、**糖尿病患者数 (非糖尿病性腎疾患の偶発も含む)** _____人/月

3. 先生が担当される1ヶ月間の平均的な透析患者数とそのうちの糖尿病患者数をお知らせください。
血液透析患者 _____人/月 延べ患者数 (患者数 X 透析回数) _____人/月
うち、**糖尿病患者数 (非糖尿病性腎疾患の偶発も含む)** _____人/月

腹膜透析患者 _____人/月 延べ患者数 (患者数 X 受診回数) _____人/月
うち、**糖尿病患者数 (非糖尿病性腎疾患の偶発も含む)** _____人/月

4. **糖尿病性患者 (非糖尿病性腎疾患の偶発も含む) の透析新規導入 (紹介患者を含む)** における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

5. **糖尿病合併維持透析患者**における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

6. 先生の**糖尿病合併維持透析患者**の月平均のイベント発症数とそのうちの入院加療患者数をお知らせください。
心血管イベント 心不全 _____人/月 (うち、入院 _____人/月)
脳卒中 _____人/月 (うち、入院 _____人/月)
虚血性心疾患 _____人/月 (うち、入院 _____人/月)

臓器感染症 (足病変も含む) _____人/月 (うち、入院 _____人/月)
眼科的イベント (失明・眼科手術など) _____人/月 (うち、入院 _____人/月)
整形外科的イベント (骨折・手根症候群など) _____人/月 (うち、入院 _____人/月)
その他 (悪性腫瘍・外科手術など) _____人/月 (うち、入院 _____人/月)

7. 先生が担当されている入院加療中の総透析患者数とそのうち**糖尿病合併維持透析患者数**をお知らせください (病院勤務の先生のみお答えください)。
① 総患者数 _____人/月
② 糖尿病合併透析患者 _____人/月

8. 先生が担当されている**入院中の糖尿病合併透析患者**における**先生ご自身**の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください (病院勤務の先生のみお答えください)。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

9. 先生の所属施設のベッド数をお知らせください。
① 0床
② 1~19床
③ 20~49床
④ 50~99床
⑤ 100~199床
⑥ 200~299床
⑦ 300~499床
⑧ 500床以上

10. 先生の所属施設の**総人工腎臓台数**をお知らせください。
_____台

ご協力ありがとうございました。

表5 脳神経系専門医 (神経内科、脳神経外科、脳卒中専門医) 調査表

糖尿病合併症に関する調査
(脳神経外科専門医、神経内科専門医、脳卒中専門医対象)

調査ご協力のお願い

先生には、お忙しいところ、申し訳ありません。
脳卒中を診療されている専門医の先生に、厚生労働省研究班からのアンケートのお願いです。どうか、ご協力をお願い申し上げます。
本研究については、別添の趣旨書に詳しいことが述べられていますのでご参照頂きたいと思いますが、要約しますと、この調査は日本専門医制評価・認定機構の関連の「厚生労働科学研究費補助金 (地域医療基盤開発推進研究事業) 医療連携モデルを基盤とした総合診療系医と領域別専門医の必要数算定法と専門医制度の検討 (H21-医療一般-003) (主任研究者: 福島県立医科大学 (内科) 教授 渡辺毅) によるもので、本年度は、糖尿病を疾患モデルとして、糖尿病および合併症の管理におけるかかりつけ医と脳卒中専門医、糖尿病専門医を含む各専門医の役割分担と少なくともガイドラインを遵守した場合の必要数の検討が主たるテーマです。
その一環で、脳卒中の診療にあたる各学会専門医が糖尿病患者の脳卒中診療に対する医療資源 (時間) 投入の現状と必要量を知るためのアンケート調査を行っています。大変重要な調査になると思います。是非ご協力下さいますようお願い致します。
専門医の先生方に各学会よりアンケート実施にご了解・ご協力を得、さらに事務局 (脳卒中学会、脳神経外科学会、神経学会) から頂いたラベルをランダムに抽出してお送りしていることを申し添えます。締め切りは1月10日とさせていただきます。

※ご回答は別紙の回答用紙に記入して頂き、ファックスでご返送をお願いします

【調査実施主体】立教大学社会学部 / 立教大学院診療所 (教授 大生 定義)

【研究協力機関】聖ルカ・ライフサイエンス研究所 臨床疫学センター

アンケートの記入方法について

◇「平均的」とは、先生が診察されている患者さんのなかで典型的な患者さんについての情報とお考え下さり大体の数字をお答えください。
◇理想的な診療時間については、診療のガイドラインに沿いつつ、先生が、実際の診療現場での現実的で専門医として容認できる必要な診療と思われるものをお考え下さり大体の数字をお答え下さい。

外来診療についておかがいします

問1 過去1年間の平均的な先生の1カ月間の平均的な外来診療の、のべ患者数をお知らせください。

問2 過去1年間の平均的な先生の1カ月当たり外来診療に費やす時間は何時間でしょうか。

問3 過去1年間の平均的な1ヶ月間の平均的な総外来診療における**初診と再診の糖尿病を合併して**

いる**脳血管障害患者 (脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)** の、のべ患者数をお知らせください。

問4 **糖尿病を合併している脳血管障害の初診患者** (急性患者や紹介患者を含む) に要する平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

問5 **糖尿病を合併している脳血管障害の再診患者** (急性患者や紹介患者を含む) に要する平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
_____ **入院診療についておかがいします** _____

問6 過去1年間の平均的な先生の外来からの1ヶ月間の担当されている平均の、のべ入院患者数をお知らせください。

問7 過去1年間の平均的な1ヶ月当たり入院診療に費やす時間は何時間でしょうか。

問8 過去1年間の平均的な入院診療における1ヶ月間の担当されている**糖尿病を合併している脳血管障害入院患者**の、のべ患者数を病期別にお知らせ下さい。(救急部からの依頼も含めて先生の担当入院患者数と考えて下さい。病期は入院時のものをお答え下さい。)
注: 急性期 (発症2週間以内) 重症急性期 (発症2ヶ月以内) 慢性期 (2ヶ月以降) を目安にしてください。

問9 担当されている**糖尿病を合併している脳血管障害入院患者**過去1年間の平均的な入院期間をお知らせください。(1ヶ月を越える方は1ヶ月として計算して1ヶ月ベースでお考えください。)

問10 担当されている**糖尿病を合併している脳血管障害入院患者**の過去1年間の1人当たり平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

問11 所属診療科の1ヶ月平均の、のべ入院患者数と**糖尿病を合併している脳血管障害**の、のべ入院患者数をお知らせください。
_____ **最後に先生ご自身のことをおかがいします** _____

問12 性別をお知らせください。

問13 おいくつですか。

問14 卒後何年になりますか。

問15 所属施設のベッド数をお知らせください。(1つだけ○印)

問16 所属は以下のうち、どちらに当てはまりますか? (1つだけ○印)

問17 先生の診療科に所属している専門医 (脳神経外科専門医、神経内科専門医、脳卒中専門医) 総人数をお知らせください (非常勤も含む)
◇◇◇ ご協力ありがとうございました ◇◇◇

表6-1 循環器専門医対象調査表

糖尿病合併症診療に関するアンケート
循環器専門医対象

1. 年齢 歳、 性別：男・女

2. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療患者数をお知らせください。
_____人/月

3. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療における初診と再診の動脈硬化性疾患（虚血性心疾患、末梢動脈疾患、動脈瘤など）の総患者数および、糖尿病合併患者数をお知らせください。
初診
総数 _____人/月 動脈硬化性疾患患者数 _____人/月（糖尿病合併 _____人/月）
再診
総数 _____人/月 動脈硬化性疾患患者数 _____人/月（糖尿病合併 _____人/月）

4. 糖尿病合併動脈硬化性疾患の初診患者（紹介患者を含む）における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

5. 糖尿病合併動脈硬化性疾患の再診患者における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

6. 先生の外来から糖尿病合併動脈硬化性疾患の月平均の入院患者数とその理由をお教えてください。
カテーテル検査 _____人/月
カテーテル治療 _____人/月
心血管イベント 脳卒中 _____人/月 急性冠症候群 _____人/月 その他 _____人/月
その他（足病変、感染症、悪性腫瘍など） _____人/月

7. 先生が担当されている平均の総入院患者数と糖尿病合併患者数をお知らせください。
① 総患者 _____人/日
② 糖尿病合併患者 _____人/日

1

8. 先生が担当されている糖尿病合併動脈硬化性疾患の入院患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

9. 先生の所属施設のベッド数をお知らせください。
① 0床
② 1~19床
③ 20~49床
④ 50~99床
⑤ 100~199床
⑥ 200~299床
⑦ 300~499床
⑧ 500床以上

10. 先生の所属診療科の1日平均の糖尿病合併動脈硬化性疾患をお知らせください。
総入院患者数 _____人/日 糖尿病性腎症 _____人/月

ご協力ありがとうございました。

2

表6-2 心臓血管外科専門医対象調査表

糖尿病合併症診療に関するアンケート
心臓血管外科専門医対象

1. 年齢 歳、 性別：男・女

2. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療患者数をお知らせください。
_____人/月

3. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療における初診と再診の動脈硬化性疾患（虚血性心疾患、末梢動脈疾患、動脈瘤など）の総患者数および、糖尿病合併患者数をお知らせください。
初診
総数 _____人/月 動脈硬化性疾患患者数 _____人/月（糖尿病合併 _____人/月）
再診
総数 _____人/月 動脈硬化性疾患患者数 _____人/月（糖尿病合併 _____人/月）

4. 糖尿病合併動脈硬化性疾患の初診患者（紹介患者を含む）における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

5. 糖尿病合併動脈硬化性疾患の再診患者における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

6. 先生の外来から糖尿病合併動脈硬化性疾患の月平均の入院患者数とその理由をお教えてください。
カテーテル検査 _____人/月
カテーテル治療 _____人/月
心血管イベント 脳卒中 _____人/月 急性冠症候群 _____人/月 その他 _____人/月
その他（足病変、感染症、悪性腫瘍など） _____人/月

7. 先生が担当されている平均の総入院患者数と糖尿病合併患者数をお知らせください。
① 総患者 _____人/日
② 糖尿病合併患者 _____人/日

1

8. 先生が担当されている糖尿病合併動脈硬化性疾患の入院患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。
平均診療時間 _____分/人 理想的診療時間 _____分/人

9. 先生の所属施設のベッド数をお知らせください。
① 0床
② 1~19床
③ 20~49床
④ 50~99床
⑤ 100~199床
⑥ 200~299床
⑦ 300~499床
⑧ 500床以上

10. 先生の所属診療科の1日平均の糖尿病合併動脈硬化性疾患をお知らせください。
総入院患者数 _____人/日 糖尿病性腎症 _____人/月

ご協力ありがとうございました。

2

表7 眼科専門医対象調査表

糖尿病合併症診療に関するアンケート
眼科専門医対象

1. 年齢 歳、 性別：男・女

2. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療患者数をお知らせください。
_____人/月

3. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療における糖尿病併発患者の初診と再診の患者数をお知らせください。

	初診	再診
① 1型糖尿病	_____人/月	_____人/月
② 2型糖尿病	_____人/月	_____人/月
③ その他の糖尿病	_____人/月	_____人/月

4. 糖尿病併発の初診患者における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人

5. 糖尿病併発の再診患者における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人

6. 先生の外来診療における糖尿病併発・再診患者の治療内容とその平均的な診療時間及び理想的な必要時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
網膜レーザー光凝固（一回） _____人/月	_____分/人	_____分/人

7. 先生が担当されている平均の総入院患者数と糖尿病併発患者数をお知らせください。

① 総患者 _____人/日

② 糖尿病併発 _____人/日

8. 先生が担当されている糖尿病併発の入院患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人

9. 先生の所属施設のベッド数をお知らせください。

① 0床
② 1～19床
③ 20～49床
④ 50～99床
⑤ 100～199床
⑥ 200～299床
⑦ 300～499床
⑧ 500床以上

10. 先生の所属施設の眼科における1日平均の糖尿病併発入院患者数をお知らせください。
_____人/日

ご協力ありがとうございました。

表8 消化器外科専門医調査表

2010年消化器外科専門医アンケート質問項目・選択肢

質問項目	タイプ	選択肢																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10									
1 性別	ラジオボタン	男性	女性																	
2 年齢(平成21年12月1日現在)	プルダウン	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上													
3 勤務先の開設主体	ラジオボタン	国公立(国、都道府県、市町村)・公的(日本、済生会、その他公的法人「独立行政法人、財団、社団」)	医療法人	個人	学校法人	社会福祉法人	会社	医療生協	その他											
4 勤務先の病床数	プルダウン	0~19床	20~99床	100~199床	200~299床	300~399床	400~499床	500床以上												
5 勤務先の所在地	プルダウン																			
6 勤務形態	ラジオボタン	経営責任のある勤務医(医療法人役員、行政部長、教授など)	上記以外の勤務医	大学医局から派遣された勤務医	研修医	経営者(開業医)	その他													
7 あなたは主に次のどの業務に該当しますか。	ラジオボタン	(臨床)病院勤務者(大学附属病院を除く)	(臨床)診療所勤務者	(臨床)大学附属病院勤務者	行政職	研究職	その他													
8-1 外科全体のスタッフ数	実数																			
9-2 消化器一般外科のスタッフ数	実数																			
10-3 麻酔科医のスタッフ数	実数																			
11 9-1-1 先生の消化器外科におけるご専門は何ですか。	マルチセレクト	特に決めていない	食道外科	胃外科	下部消化管(小腸、大腸)外科	肛門外科	肝臓外科	胆臓外科	移植外科	その他										
12 9-1-2 「その他」を具体的に	テキストエリア																			
13 9-2 貴施設での肝胆膵外科、消化管外科などの臓器別の診療体制の有無	ラジオボタン	とっていない	とっている																	
14 9-3-1 9-2で「とっている」と答えた方にお聞きします。	ラジオボタン	消化管と肝胆膵に分かれている。	上部消化管、下部消化管、肝胆膵に分けられている。	上部消化管、下部消化管、肝胆膵に分けられている。	さらに細分化されている。															
15 9-3-2 「さらに細分化されている」場合の具体的な診療グループ名	テキストエリア																			
16 9-4 臓器別の診療体制の是非をお聞きします。	ラジオボタン	必要である。	とることが理想である。	不要である。																
17 9-5-1 9-4で「必要である」あるいは「とることが理想である」と答えた方にお聞きします。理想的な臓器別診療体制は。	ラジオボタン	消化管外科、肝胆膵外科に分ける。	上部消化管、下部消化管、肝胆膵に分ける。	上部消化管、下部消化管、肝胆膵、胆臓に分けられている。	さらに細分化する。															
18 9-5-2 「さらに細分化する」場合、具体的に	テキストエリア																			
19 10-1-1 消化器外科専門医資格の取得時期についてお聞きします。	ラジオボタン	現状のように40歳前後が妥当である。	卒業10年以内に取得できることが望ましい。	取得時期にこだわらざるべきではない。	その他															
20 10-1-2 「その他」を具体的に	テキストエリア																			
21 10-2-1 消化器外科医の修業開始時期についてお聞きします。	ラジオボタン	初期研修終了後、可及的に早く開始すべきである。	広く外科の各分野を経験してから開始すべきである。	開始時期にこだわらざるべきではない。	その他															
22 10-2-2 「その他」を具体的に	テキストエリア																			
23 10-3-1 消化器外科専門医の修業過程における外科専門医の位置づけについてお聞きします。	ラジオボタン	消化器外科専門医の修業に専念させるためには外科認定医として現行より早くその資格を付与すべきである。	現行どおり外科専門医を取得後に、消化器外科専門医の修業を位置づけるべきである。	並行して修業ができるので特にこだわらない。	その他															
24 10-3-2 「その他」を具体的に	テキストエリア																			
25 10-4-1 消化器外科消化器外科専門医取得後のキャリアパス、更新条件についてお聞きします。	ラジオボタン	妥当な件数である。	もっと多い件数を要求すべきである。	もっと少ない件数でよい。	消化器専門分野別を考慮すべきである。	その他														
26 10-4-2 「その他」を具体的に	テキストエリア																			
27 10-5-1 10-4-1で「消化器専門分野別を考慮すべきである」と答えた方にお聞きします。専攻臓器名は何ですか。	テキストエリア																			
28 10-5-2 10-4-1で「消化器専門分野別を考慮すべきである」と答えた方にお聞きします。手術経験数について	ラジオボタン	100例以上は多い。	100例以上は少ない。	100例以上は妥当である。																
29 11-1 1週間あたりの平均実働労働時間(超過勤務時間を含めて下さい) 1. 臨床(外来)	プルダウン	行っていない	10時間未満	10~20時間	20~30時間	30~40時間	40時間以上													
30 11-2 1週間あたりの平均実働労働時間(超過勤務時間を含めて下さい) 2. 臨床(手術)	プルダウン	行っていない	10時間未満	10~20時間	20~30時間	30~40時間	40時間以上													
31 11-3 1週間あたりの平均実働労働時間(超過勤務時間を含めて下さい) 3. 臨床(検体・患者処置、指示、患者説明、臨床若手教育等)	プルダウン	行っていない	10時間未満	10~20時間	20~30時間	30~40時間	40時間以上													
32 11-4 1週間あたりの平均実働労働時間(超過勤務時間を含めて下さい) 4. 臨床以外(管理系会議参加、研究、講義等)	プルダウン	行っていない	10時間未満	10~20時間	20~30時間	30~40時間	40時間以上													
33 11-5 1週間あたりの平均実働労働時間(超過勤務時間を含めて下さい) 5. 当直(留日直)	プルダウン	行っていない	10時間未満	10~20時間	20~30時間	30~40時間	40時間以上													
34 11-6 1週間あたりの平均実働労働時間(超過勤務時間を含めて下さい) 6. 所属施設以外での勤務時間(アルバイト等)	プルダウン	行っていない	10時間未満	10~20時間	20~30時間	30~40時間	40時間以上													
35 11-7 1週間あたりの平均実働労働時間(超過勤務時間を含めて下さい) 合計(上記1.~5.の合計時間)	プルダウン	30時間未満	30~40時間	40~50時間	50~60時間	60~70時間	70~80時間	80時間以上												
36 12-1 外来患者の診療:1週間の平均的外来総患者数をお知らせください。	プルダウン	行っていない	0~20人	20~40人	40~60人	60~80人	80~100人	100~120人	120~140人	140~160人	160人以上									
37 12-2 上記のうち「がん」患者数は何人でしょうか。	実数																			
38 12-3 上記のうち化学療法施行患者数をお知らせください。	実数																			
39 12-4-1 初診患者:平均診療時間	実数																			
40 12-4-2 初診患者:理想的診療時間	実数																			
41 12-5-1 再診患者:平均診療時間	実数																			
42 12-5-2 再診患者:理想的診療時間	実数																			
43 12-6 1日の理想的な外来患者数は	実数																			
44 13-1 入院患者の診療:1週間の平均的入院総患者数をお知らせください。	プルダウン	受け持っていない	0~20人	20~40人	40~60人	60~80人	80~100人	100~120人	120~140人	140~160人	160人以上									
45 13-2 上記のうち「がん」入院患者数は何人でしょうか。	実数																			
46 13-3 上記のうち化学療法施行患者数をお知らせください。	実数																			
47 13-4-1 入院患者:平均診療時間	実数																			

2010年消化器外科専門医アンケート質問項目・選択肢

質問項目	タイプ	選択肢																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10									
48 13-4-2 入院患者:理想的診療時間	実数																			
49 14-1 1か月の平均的な手術患者数(術者、助手に拘わりなく参加したすべての手術)	ブルダウン	行っていない	5人未満/月	5~10人/月	10~15人/月	15~20人/月	20~25人/月	25~30人/月	30人以上/月											
50 14-2 上記のうち消化器"がん"手術患者数	実数																			
51 14-3-1 1か月の平均的な手術患者数 1)執刀者として	実数																			
52 14-3-2 1か月の平均的な手術患者数 2)指導的助手として	実数																			
53 14-4-1 1か月の平均的な消化器"がん"手術患者数 1)執刀者として	実数																			
54 14-4-2 1か月の平均的な消化器"がん"手術患者数 2)指導的助手として	実数																			
55 14-5-1 術式:食道切除再建術	実数																			
56 14-5-2 術式:胃縫合術	実数																			
57 14-5-3 術式:胃切除術	実数																			
58 14-5-4 術式:胃全摘術	実数																			
59 14-5-5 術式:結腸右半切除術	実数																			
60 14-5-6 術式:腸閉塞手術	実数																			
61 14-5-7 術式:高位前方切除術	実数																			
62 14-5-8 術式:低位前方切除術	実数																			
63 14-5-9 術式:肝外側切除術	実数																			
64 14-5-10 術式:肝切除術	実数																			
65 14-5-11 術式:胆嚢摘出術	実数																			
66 14-5-12 術式:膵頭十二指腸切除術	実数																			
67 14-5-13 術式:腹部ヘルニア・鼠径ヘルニア手術	実数																			
68 14-5-14 術式:急性汎発性膵臓炎手術	実数																			
69 14-5-15-1 上記以外で多く施行しているもの。	実数																			
70 14-5-15-2 具体的に	テキストエリア																			
71 14-6-1 1年間の平均的な手術患者数:手術件数	実数																			
72 14-6-2 1年間の平均的な手術患者数:理想とする手術件数	実数																			
73 15-1-1-1 1か月の外来患者:併存疾患 糖尿病	実数																			
74 15-1-1-2 1か月の外来患者:併存疾患 糖尿病(消化器がん患者)	実数																			
75 15-1-2-1 1か月の外来患者:併存疾患 心疾患	実数																			
76 15-1-2-2 1か月の外来患者:併存疾患 心疾患(消化器がん患者)	実数																			
77 15-1-3-1 1か月の外来患者:併存疾患 呼吸器疾患	実数																			
78 15-1-3-2 1か月の外来患者:併存疾患 呼吸器疾患(消化器がん患者)	実数																			
79 15-1-4-1 1か月の外来患者:併存疾患 腎疾患	実数																			
80 15-1-4-2 1か月の外来患者:併存疾患 腎疾患(消化器がん患者)	実数																			
81 15-1-5-1 1か月の外来患者:併存疾患 脳血管疾患	実数																			
82 15-1-5-2 1か月の外来患者:併存疾患 脳血管疾患(消化器がん患者)	実数																			
83 15-1-6-1 1か月の外来患者:併存疾患 その他疾患(具体的に、列挙可)	テキストエリア																			
84 15-1-6-2 1か月の外来患者:併存疾患 その他疾患	実数																			
85 15-1-6-3 1か月の外来患者:併存疾患 その他疾患(消化器がん患者)	実数																			
86 15-2-1-1 1か月の消化器手術患者:併存疾患 糖尿病	実数																			
87 15-2-1-2 1か月の消化器手術患者:併存疾患 糖尿病(消化器がん患者)	実数																			
88 15-2-2-1 1か月の消化器手術患者:併存疾患 心疾患	実数																			
89 15-2-2-2 1か月の消化器手術患者:併存疾患 心疾患(消化器がん患者)	実数																			
90 15-2-3-1 1か月の消化器手術患者:併存疾患 呼吸器疾患	実数																			
91 15-2-3-2 1か月の消化器手術患者:併存疾患 呼吸器疾患(消化器がん患者)	実数																			
92 15-2-4-1 1か月の消化器手術患者:併存疾患 腎疾患	実数																			
93 15-2-4-2 1か月の消化器手術患者:併存疾患 腎疾患(消化器がん患者)	実数																			
94 15-2-5-1 1か月の消化器手術患者:併存疾患 脳血管疾患	実数																			
95 15-2-5-2 1か月の消化器手術患者:併存疾患 脳血管疾患(消化器がん患者)	実数																			

表9 H22糖尿病診療における医療連携モデルと専門医制度に関する地域調査表

<別紙3>
糖尿病診療における医療連携モデルと専門医制度に関する地域調査表

代表者ご所属
 代表者名

2次医療圏名(あれば) 可能であれば2次医療圏を示す地図や2次医療圏内の人口などの資料のコピーを添付ください。

1. 糖尿病医療連携の形態と稼働状況について

①中心となる組織はどこですか？ その名称

病院	<input type="text"/>
医師会	<input type="text"/>
行政	<input type="text"/>
その他(NPOなど)	<input type="text"/>

②具体的にどのような糖尿病医療連携を行っていますか？

・クリニカルパスを作成していますか？作成していればどのようなパスですか？
 (パスが公開可能であれば、コピーを同封お願いします)

・クリニカルパス以外の医療連携の場合、どのような医療連携ですか？
 (公開可能な参考資料があれば、同封お願いします)

2. 糖尿病医療連携での専門医機関について

①専門医機関の1ヶ月の平均的総診療患者数(糖尿病の患者さん以外も含めた全ての患者数)の概数はいくらか？
 注)同じ患者を月に2度診療する場合は、2人とカウントして下さい。また、医療連携を利用する患者も含まれます。

内)糖尿病患者総数 人/月
 人/月

②専門医機関における糖尿病診療に関わる医師数

糖尿病診療に携わる医師数 人
 その内)日本糖尿病学会認定専門医数 人

③医師が糖尿病診療に携わる診療時間の割合(全勤務時間(診療、教育、研究、会議等を含めて)を100とした場合のエフォート)

医療連携を利用しない糖尿病患者の診療 %
 医療連携における糖尿病患者の診療 %

④先生が、医療連携を行っている糖尿病患者と医療連携を行っていない糖尿病に対する患者1人当たりの現状の診療時間と理想と考える診療時間(*)を初診、再診別にお教えください。
 注:理想的と考える診療時間*:実際の診療時間ではなく、少なくとも糖尿病診療ガイドラインに沿った診療を理想的なチーム医療(OIEを含む)で行った場合に、先生ご自身が必要と考える診療時間又は必要時間をご記入ください。

1)医療連携を行っている糖尿病患者

	初診	再診
実際の診療時間	分/人	分/人
理想と考える診療時間	分/人	分/人

2)医療連携を行っていない糖尿病患者

	初診	再診
実際の診療時間	分/人	分/人
理想と考える診療時間	分/人	分/人

⑤医療連携に携わるコメディカルスタッフ数

看護師	<input type="text"/> 人
薬剤師	<input type="text"/> 人
理学療法士	<input type="text"/> 人
栄養士	<input type="text"/> 人
その他()	<input type="text"/> 人

⑥医療連携に携わるコメディカルスタッフが医療連携と医療連携以外に携わる時間の割合(全勤務時間を100とした場合)

1)医療連携を利用しない患者に携わる時間の割合

看護師	<input type="text"/> %
薬剤師	<input type="text"/> %
理学療法士	<input type="text"/> %
栄養士	<input type="text"/> %
その他	<input type="text"/> %

2)医療連携を利用する患者に携わる時間の割合

看護師	<input type="text"/> %
薬剤師	<input type="text"/> %
理学療法士	<input type="text"/> %
栄養士	<input type="text"/> %
その他	<input type="text"/> %

⑦かかりつけ医が貴医療機関のコメディカルスタッフを活用できるシステムがありますか？

1. ない
 2. ある(職種に○をつけてください)

() 看護師
() 薬剤師
() 理学療法士
() 栄養士
() その他()

⑧医療連携システムを利用した専門医機関から紹介、逆紹介についてお教えください。

紹介患者数 人/月
 逆紹介患者数 人/月
 紹介先の連携医療機関(かかりつけ医)数 人

⑨明文化した紹介基準および逆紹介基準があればお教えください。

1)紹介基準(公開可能な資料があれば同封下さいます様お願いいたします。)

2)逆紹介基準(公開可能な資料があれば同封下さいます様お願いいたします。)

3. 糖尿病医療連携システムの評価について

①医療連携システムやパスについて評価を行ったことがありますか？
 (たとえばアンケート調査など)
 あればその結果をご教示ください。

②医療連携を行うことによって、糖尿病診療はどのように変化しましたか？

③医療連携を行うことにより患者の満足度はどのように変化しましたか？

4. 糖尿病の疫学的事項

①医療圏内の推定糖尿病患者数 人

②医療圏内の推定糖尿病受療患者数 人

④医療圏内の糖尿病合併症や心血管合併症などの疫学的資料があればご送付ください。
あり なし

5. 糖尿病医療連携に対するご意見

①専門医数の制限が無いと仮定したら、総ての糖尿病患者の診療は、糖尿病専門医が担当する(モデルA)ことが望ましいとお考えですか？
はい いいえ

②糖尿病の医療連携においては、どのような形態が最も望ましいとお考えですか？理由もお知らせください。
(望ましいと考えられる形態は、別紙2でお示した医療連携モデルBとCとでは、どちらに最も近いですか？)

望ましい形態とその理由

以下のいずれかをご選択して、○をつけて下さい
モデル () B () C に近い。() まったく異なる。

③糖尿病の医療連携の遂行に障害となることはどのようなことですか？

例 ・医療連携に携わる医師の不足。 ・患者が紹介逆紹介を好まない。 など

④糖尿病の医療連携を遂行するための、必要十分な医師数についてのご意見をお願いいたします。
特に現在、実際に医療連携に携わっている医師数(質問2-①)との関連を含めてお答え願います。

例 ・特に専門医(あるいはかかりつけ医)の医師が不足し、あと3倍必要 など

⑤今後、糖尿病における医療連携を普及させていくためには、どんな点を改善する必要があると考えますか？

ご協力頂き有難うございました。

表10 H22CKD診療かかりつけ医web調査

H22 ケアネットWeb調査

Web画面 タイトル	慢性腎臓病(CKD)診療に関するアンケート	Ver.	2.2
稼働表タイトル	CKD 診療調査		
メール配信 タイトル	慢性腎臓病(CKD)診療に関するアンケート		

*** 調査の対象となる先生**
当調査は、以下の(1)(2)(3)をすべて満たす先生が対象となっております。
(1) 日本腎臓学会あるいは日本透析学会に「腎臓専門医」あるいは「透析専門医」として認定されていない先生
(2) 慢性腎臓病(CKD)をご存知の先生
(3) 「最近1か月の総外来診療患者数が100人以上」、「慢性腎臓病(CKD)患者数が1人以上で、かつ、総外来診療患者数の3割以下」の先生

本アンケートは、慢性腎臓病(CKD)患者さんに対する現状の診療と先生方が理想的と考えられる診療における先生方の人的資源の投入量とそれを規定する因子を知る目的で実施するものです。

S1. 先生は日本腎臓学会あるいは日本透析学会に「腎臓専門医」あるいは「透析専門医」として認定されていますか。
(回答は1つ)【必須】

1. はい
2. いいえ

本調査は、日本腎臓学会あるいは日本透析学会に「腎臓専門医」あるいは「透析専門医」として認定されていない先生が対象です。次回、別調査にてご協力いただけるとありがたく存じます。

S2. 先生は、慢性腎臓病(以下CKD)についてご存知ですか。
(回答は1つ)【必須】

1. はい
2. いいえ

CKD 診療調査_v22

S3. 最近1か月間の以下の患者数をお知らせください。
* 同じ患者さんを月に複数回診療の場合は、診療した回数をカウントしてください。
(整数値入力)【必須】

1. 総外来診療患者数	人/月
2. CKD患者数	人/月

本アンケートは、「最近1か月の総外来診療患者数が100人以上」、「最近1か月のCKD患者数が1人以上で、かつ、総外来診療患者数の3割以下」の先生が対象です。次回、別調査にてご協力いただけるとありがたく存じます。

Q1. 健診で尿異常もしくは腎機能障害を指摘されて受診したCKD患者さんで、どのような場合に、定期的経過観察または加療を必要と判断されますか。以下の項目についてお知らせください。

Q1-1. 尿蛋白(尿潜血陽性の場合)
(回答は1つ)【必須】

1. 土から
2. 1+から
3. 2+から
4. 3+から

Q1-2. 尿蛋白(尿潜血陽性の場合)
(回答は1つ)【必須】

1. 一、土でも
2. 1+から
3. 2+から
4. 3+から

Q1-3. 血清クレアチニン(mg/dL)
(回答は列ごとに1つ)【必須】

	男性	女性
1. 1.0未満	1	1
2. 1.0以上1.5未満	2	2
3. 1.5以上2.0未満	3	3
4. 2.0以上2.5未満	4	4
5. 2.5以上3.0未満	5	5
6. 3.0以上5.0未満	6	6
7. 5.0以上	7	7
8. 血清クレアチニン値では判断しない	8	8

©Copyright 2010 CareNet, Inc. All rights reserved. 無断転載を禁じます。 2

Q1-4. 推定糸球体濾過量:eGFR(mL/min/1.73m²)

(回答は1つ)【必須】

1.	60 以上 90 未満(ステージ2)
2.	50 以上 60 未満(ステージ3)
3.	30 以上 50 未満(ステージ3)
4.	15 以上 30 未満(ステージ4)
5.	15 未満(ステージ5)
6.	eGFR では判断しない

Q2. CKD 患者さんを腎臓専門医あるいは透析専門医に紹介する基準をお知らせください。

Q2-1. 尿蛋白(尿潜血陰性の場合)

(回答は1つ)【必須】

1.	± から
2.	1+ から
3.	2+ から
4.	3+ から

Q2-2. 尿蛋白(尿潜血陽性の場合)

(回答は1つ)【必須】

1.	ー、± まで
2.	1+ から
3.	2+ から
4.	3+ から

Q2-3. 血清クレアチニン(mg/dL)

(回答は列ごとに1つ)【必須】

	男性	女性
1.	1.0 未満	1
2.	1.0 以上 1.5 未満	2
3.	1.5 以上 2.0 未満	3
4.	2.0 以上 2.5 未満	4
5.	2.5 以上 3.0 未満	5
6.	3.0 以上 5.0 未満	6
7.	5.0 以上	7
8.	血清クレアチニン値では判断しない	8

Q2-4. 推定糸球体濾過量:eGFR(mL/min/1.73m²)

(回答は1つ)【必須】

1.	60 以上 90 未満(ステージ2)
2.	50 以上 60 未満(ステージ3)
3.	30 以上 50 未満(ステージ3)
4.	15 以上 30 未満(ステージ4)
5.	15 未満(ステージ5)
6.	eGFR では判断しない

Q3. CKD 診療に関して、先生は CKD 診療ガイドをどのように利用されていますか。下記よりお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	CKD 診療ガイドを知らない
2.	CKD 診療ガイドの存在を知っているが活用していない
3.	CKD 診療ガイドの存在を知っているが一部しか活用していない
4.	CKD 診療ガイドを十分に活用している

Q4. 最近1か月の CKD の初診患者数と、それぞれの患者さん1人あたりの平均的な診療時間および理想的な診療時間を、それぞれ CKD のステージ別にお知らせください。

* 理想的な診療時間:実際の診療時間ではなく、少なくともCKD診療ガイドに沿った診療を行った場合に、先生ご自身が必要と考える診療時間をご記入ください。

* CKD のステージ分類は下記の表をご参照ください。

	推定糸球体濾過量:eGFR(mL/min/1.73m ²)
腎機能正常	90 以上
ステージ2	60 以上 90 未満
ステージ3	30 以上 60 未満
ステージ4	15 以上 30 未満
ステージ5	15 未満

(整数値入力)【必須】

	CKD 初診患者数	平均的な診療時間	理想的な診療時間
1.	検尿異常(腎機能正常またはステージ2)	人/月	分/人
2.	ステージ3	人/月	分/人
3.	ステージ4	人/月	分/人
4.	ステージ5	人/月	分/人

Q5. 最近1か月の CKD の再診患者数と、それぞれの患者さん1人あたりの平均的な診療時間および理想的な診療時間を、それぞれ CKD のステージ別にお知らせください。

* 理想的な診療時間:実際の診療時間ではなく、少なくともCKD診療ガイドに沿った診療を行った場合に、先生ご自身が必要と考える診療時間をご記入ください。

* CKD のステージ分類は下記の表をご参照ください。

	推定糸球体濾過量:eGFR(mL/min/1.73m ²)
腎機能正常	90 以上
ステージ2	60 以上 90 未満
ステージ3	30 以上 60 未満
ステージ4	15 以上 30 未満
ステージ5	15 未満

* 再診患者数は、Q4 で報告した人が再診した場合も含みます。

* 再診患者数は、月に複数回診察した人は複数でカウントしてください。

(整数値入力)【必須】

	CKD 再診患者数	平均的な診療時間	理想的な診療時間
1.	検尿異常(腎機能正常またはステージ2)	人/月	分/人
2.	ステージ3	人/月	分/人
3.	ステージ4	人/月	分/人
4.	ステージ5	人/月	分/人

Q6. 過去1年間の CKD 診療において、末期腎不全により透析導入を依頼(もしくは先生ご自身で導入)された患者数をお知らせください。

(整数値入力)【必須】

1.	人/年
----	-----

Q7. 過去1年間の CKD 診療において、心血管、脳血管、末梢血管におけるイベントが新規発症した患者数をお知らせください。

(整数値入力)【必須】

1.	心筋梗塞もしくは狭心症など虚血性心疾患(心電図異常を含む)	人/年
2.	脳出血、脳梗塞などの脳血管障害	人/年
3.	閉塞性動脈硬化症(ASO)など末梢血管障害	人/年

全ての方にお伺いします。

以下の項目は、結果を統計的にとりまとめるために必要ですので、ご入力をお願いします。

F1. 先生の卒後年数をお知らせください。

(整数値入力)【必須】

1.	卒後	年
----	----	---

F2. 先生の性別をお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	男性
2.	女性

F3. 先生の主な診療科をお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	一般内科	7.	腎臓内科	13.	眼科
2.	消化器内科	8.	血液内科	14.	皮膚科
3.	循環器内科	9.	内分泌内科	15.	泌尿器科
4.	呼吸器内科	10.	外科	16.	産婦人科
5.	神経内科	11.	放射線科	17.	その他()
6.	アレルギー・膠原病内科	12.	麻酔科		

F4. 先生は、主な診療科の専門医資格を取得されていますか。

(回答は1つ)【必須】

1.	取得している
2.	取得していない

F5. 先生が主に所属されている施設の所在地(都道府県)をお知らせください。

(回答は1つ)【必須】

1.	ブルダワン1
----	--------

表11 H22CKD腎臓専門医対象調査表

CKDに関するアンケート
腎臓専門医対象

本アンケートは、H22年10月25日までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

1. 卒後 年、 性別：男・女

2. 先生の1ヶ月間の平均的な総外来診療患者数と初診と再診のCKD患者の総患者数をお知らせください。

総外来診療患者数 _____人/月 (うち、糖尿病患者数 _____人/月)
初診CKD患者数 _____人/月 (うち、糖尿病患者数 _____人/月)
再診CKD患者数 _____人/月 (うち、糖尿病患者数 _____人/月)

3. CKDの外来初診患者(紹介患者を含む)における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をCKDステージ別にお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
非糖尿病CKDの場合：		
CKDステージ1～2	_____分/人	_____分/人
CKDステージ3	_____分/人	_____分/人
CKDステージ4	_____分/人	_____分/人
CKDステージ5	_____分/人	_____分/人
糖尿病合併CKDの場合：		
CKDステージ1～2	_____分/人	_____分/人
CKDステージ3	_____分/人	_____分/人
CKDステージ4	_____分/人	_____分/人
CKDステージ5	_____分/人	_____分/人

4. CKDの外来再診患者における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
非糖尿病CKDの場合：		
CKDステージ1～2	_____分/人	_____分/人
CKDステージ3	_____分/人	_____分/人
CKDステージ4	_____分/人	_____分/人
CKDステージ5	_____分/人	_____分/人
糖尿病合併CKDの場合：		
CKDステージ1～2	_____分/人	_____分/人
CKDステージ3	_____分/人	_____分/人
CKDステージ4	_____分/人	_____分/人
CKDステージ5	_____分/人	_____分/人

5. 先生が担当されている平均の総入院患者数とCKD併発入院患者数をお知らせください。

① 総患者 _____人/日 ② CKD患者 _____人/日

6. 先生が担当されているCKDの入院患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間をCKDステージ別にお知らせください。

	平均診療時間	理想的診療時間
非糖尿病CKDの場合：		
CKDステージ1～2	_____分/人	_____分/人
CKDステージ3	_____分/人	_____分/人
CKDステージ4	_____分/人	_____分/人
CKDステージ5	_____分/人	_____分/人
糖尿病合併CKDの場合：		
CKDステージ1～2	_____分/人	_____分/人
CKDステージ3	_____分/人	_____分/人
CKDステージ4	_____分/人	_____分/人
CKDステージ5	_____分/人	_____分/人

7. 先生の所属診療科の1日平均のCKD入院患者数をお知らせください。

総入院患者数 _____人/日 CKD患者数 _____人/日

8. 先生はCKDのどのステージから腎臓専門医が診療すべきとお考えですか？

① CKDステージ1からすべて
② CKDステージ2以降
③ CKDステージ3以降
④ CKDステージ3の途中から (eGFR50未満・尿蛋白2+以上・尿蛋白血尿ともに陽性)
⑤ CKDステージ4以降
⑥ CKDステージ5以降

9. 実際のCKD患者さんほどの時期に紹介を受けることが最も多いですか？

① CKDステージ1からすべて
② CKDステージ2以降
③ CKDステージ3以降
④ CKDステージ3の途中から (eGFR50未満・尿蛋白2+以上・尿蛋白血尿ともに陽性)
⑤ CKDステージ4以降
⑥ CKDステージ5以降

10. CKD診療において末期腎不全により透析導入される頻度はどの程度経験されますか？

_____人/年

表12 H22CKD透析専門医対象調査表

CKD診療に関するアンケート
透析専門医対象

本アンケートは、H22年10月25日までに、同封の返信用封筒にてご返送ください。

11. CKD診療において、心血管、脳血管、末梢血管などの合併症をどの程度ご経験されますか？

① 心筋梗塞もしくは狭心症など虚血性心疾患(心電図異常を含む) _____人/年
② 脳出血、脳梗塞などの脳血管障害 _____人/年
③ ASOなど末梢血管障害 _____人/年

12. 先生の施設は日本腎臓学会認定教育施設もしくは日本腎臓学会教育関連施設ですか？

① 日本腎臓学会認定教育施設
② 日本腎臓学会教育関連施設
③ どちらでもない。

14. 先生の所属施設の経営形態をお知らせください。

① 大学病院
② 国立病院機構/公立病院
③ 一般病院
④ その他()

15. 先生の所属施設のベッド数をお知らせください。

① 0床
② 1～19床
③ 20～49床
④ 50～99床
⑤ 100～199床
⑥ 200～299床
⑦ 300～499床
⑧ 500床以上

16. 先生の所属施設の総人工腎臓台数をお知らせください。

_____台

17. 先生の勤務先の所在地をお知らせください(番号を記入してください) →

01.北海道 02.青森 03.岩手 04.宮城 05.秋田 06.山形 07.福島 08.茨城
09.栃木 10.群馬 11.埼玉 12.千葉 13.東京 14.神奈川 15.新潟 19.山梨 16.
富山 17.石川 18.福井 20.長野 21.岐阜 22.静岡 23.愛知 24.三重 25.滋
賀 26.京都 27.大阪 28.兵庫 29.奈良 30.和歌山 31.鳥取 32.島根 33.岡
山 34.広島 35.山口 36.徳島 37.香川 38.愛媛 39.高知 40.福岡 41.佐
賀 42.長崎 43.熊本 44.大分 45.宮崎 46.鹿児島 47.沖縄

ご協力ありがとうございました。

1. 卒後 年、 性別：男・女

2. 先生が担当される1ヶ月間の新規透析導入数をお知らせください。

血液透析患者 _____人/月 (うち、糖尿病患者数 _____人/月)
腹膜透析患者 _____人/月 (うち、糖尿病患者数 _____人/月)

3. 先生が担当される1ヶ月間の平均的な維持透析患者数をお知らせください。

非糖尿病患者：
血液透析患者 _____人/月 延べ患者数(患者数X透析回数) _____人/月
腹膜透析患者 _____人/月 延べ患者数(患者数X透析回数) _____人/月

糖尿病患者：
血液透析患者 _____人/月 延べ患者数(患者数X透析回数) _____人/月
腹膜透析患者 _____人/月 延べ患者数(患者数X透析回数) _____人/月

4. 透析新規導入(紹介患者を含む、ステージ5～5D)における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

非糖尿病患者：	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人
糖尿病患者：	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人

5. 維持透析患者における先生の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください。

非糖尿病患者：	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人
糖尿病患者：	平均診療時間	理想的診療時間
	_____分/人	_____分/人

6. 先生が担当されている入院治療中の総透析患者数をお知らせください(病院勤務の先生のみお答えください)。

総透析患者 _____人/月

7. 先生が担当されている入院中の透析患者における先生ご自身の平均的な診療時間と理想的な診療時間をお知らせください（病院勤務の先生のみお答えください）。

平均診療時間 理想的診療時間
_____分/人 _____分/人

8. 先生の維持透析患者の月平均のイベント発症数をお教えてください。

① 心筋梗塞もしくは狭心症など虚血性心疾患（心電図異常を含む） 人/年
② 脳出血、脳梗塞などの脳血管障害 人/年
③ ASO など末梢血管障害 人/年

9. 先生の施設は日本透析会認定教育施設もしくは日本透析医学会教育関連施設ですか？

① 日本透析医学会認定教育施設
② 日本透析医学会教育関連施設
③ どちらでもない。

10. 先生の所属施設の経営形態をお知らせください。

① 大学病院
② 国立病院機構/公立病院
③ 一般病院
④ その他（ ）

11. 先生の所属施設のベッド数をお知らせください。

① 0床
② 1～19床
③ 20～49床
④ 50～99床
⑤ 100～199床
⑥ 200～299床
⑦ 300～499床
⑧ 500床以上

12. 先生の所属施設の総人工腎臓台数をお知らせください。
_____台

13. 先生の勤務先の所在地をお知らせください（番号を記入してください） →

01.北海道 02.青森 03.岩手 04.宮城 05.秋田 06.山形 07.福島 08.茨城
09.栃木 10.群馬 11.埼玉 12.千葉 13.東京 14.神奈川 15.新潟 16.富山
17.石川 18.福井 19.山梨 20.長野 21.岐阜 22.静岡 23.愛知 24.三重
25.滋賀 26.京都 27.大阪 28.兵庫 29.奈良 30.和歌山 31.鳥取 32.島根
33.岡山 34.広島 35.山口 36.徳島 37.香川 38.愛媛 39.高知 40.福岡
41.佐賀 42.長崎 43.熊本 44.大分 45.宮崎 46.鹿児島 47.沖縄

ご協力ありがとうございました。

表 13. DPC 調査による分析要素（件数や比率）の推計結果

分析要素の指標と算出された件数	全体に占める割合 (%)
1. 糖尿病性昏睡の患者数	
2,623件(症例の重複がないように主病名・併病名を統合)	0.51%
2. 糖尿病を合併した手術件数	
154,813件(症例の重複がないように主病名・併病名を統合)	30.00%
3. 糖尿病の入院患者数	
381,599件(症例の重複がないように主病名・併病名を統合)	73.95%
4. 副病名に糖尿病のある入院患者数	
200,041件(症例の重複がないように併病名を統合)	38.77%

表14 糖尿病専門医アンケートによる療養指導士の効果

CDE-J				無		有		P
N				126		381		
				Ave	SD	Ave	SD	
年数				26.0	11.2	22.9	9.4	0.005
総外来診 人/月				513.0	354.0	529.3	354.0	0.672
療患者数				513.2	353.7	534.1	355.5	0.588
糖尿病患者数	1型糖尿病	初診(人/月)	min	1.1	1.5	0.8	1.2	0.158
			max	2.3	7.5	1.1	1.1	0.037
		再診(人/月)	min	17.4	41.2	24.3	24.5	0.043
			max	16.8	40.5	24.6	25.4	0.023
	2型糖尿病	初診(人/月)	min	8.9	14.8	10.5	9.9	0.214
			max	9.1	14.8	11.0	10.0	0.147
		再診(人/月)	min	227.5	182.1	359.5	242.7	0.000
			max	228.5	183.1	360.1	243.2	0.000
	その他の糖尿病	初診(人/月)	min	1.8	2.3	1.7	2.5	0.909
			max	3.3	9.1	2.0	2.5	0.110
再診(人/月)		min	13.3	20.5	20.3	31.1	0.072	
		max	13.7	20.4	20.6	31.0	0.076	
糖尿病患者の初診診療時間	1型糖尿病	診療時間(分/人)	min	19.3	9.2	18.0	8.6	0.191
			max	19.6	9.5	18.2	8.6	0.193
		理想時間(分/人)	min	29.6	13.0	30.6	13.3	0.502
			max	29.9	13.0	31.1	13.6	0.440
	2型糖尿病	診療時間(分/人)	min	17.0	9.7	15.8	8.7	0.250
			max	17.3	10.0	16.1	8.7	0.256
		理想時間(分/人)	min	27.4	12.3	27.4	12.5	0.996
			max	27.7	12.3	27.8	12.8	0.939
	その他の糖尿病	診療時間(分/人)	min	17.5	9.5	16.2	8.6	0.250
			max	18.1	9.8	16.4	8.7	0.150
		理想時間(分/人)	min	28.1	14.5	27.8	11.9	0.817
			max	28.2	14.6	28.1	12.4	0.922
糖尿病患者の再診診療時間	1型糖尿病	診療時間(分/人)	min	8.9	4.0	8.2	3.7	0.110
			max	9.4	4.6	8.4	3.8	0.038
		理想時間(分/人)	min	14.7	6.1	14.7	5.8	0.989
			max	15.2	6.3	15.2	6.0	0.989
	2型糖尿病	診療時間(分/人)	min	7.6	3.7	6.4	2.7	0.000
			max	8.2	4.3	6.7	2.8	0.000
		理想時間(分/人)	min	13.9	7.4	12.7	5.5	0.077
			max	14.4	7.6	13.2	5.6	0.077
	その他の糖尿病	診療時間(分/人)	min	7.9	3.9	7.1	3.7	0.110
			max	8.6	4.7	7.4	3.7	0.014
		理想時間(分/人)	min	13.6	5.7	12.8	5.5	0.207
			max	14.2	6.1	13.2	5.6	0.151
経口薬(一)	糖尿病再診患者数(人/月)	min	33.2	43.6	47.9	57.0	0.019	
		max	33.5	43.7	48.0	56.9	0.020	
	診療時間(分/人)	min	6.6	3.1	5.8	2.9	0.018	
		max	6.9	3.3	5.9	3.0	0.006	
	理想時間(分/人)	min	12.1	5.7	11.1	6.6	0.169	
		max	12.3	5.6	11.4	6.7	0.266	
経口薬(有)	糖尿病再診患者数(人/月)	min	152.3	105.3	214.3	156.4	0.000	
		max	153.3	106.3	214.4	156.3	0.000	
	再診診療時間(分/人)	min	7.6	3.5	6.7	3.0	0.013	
		max	8.0	3.8	7.0	3.1	0.009	
	理想時間(分/人)	min	13.9	6.6	13.3	11.2	0.626	
		max	14.3	6.8	13.6	11.1	0.586	
インスリン療法(導入時)	糖尿病再診患者数(人/月)	min	40.7	51.2	86.0	100.5	0.000	
		max	41.0	51.4	86.7	100.5	0.000	
	再診診療時間(分/人)	min	12.8	9.1	10.9	5.7	0.021	
		max	13.5	10.0	11.2	5.9	0.007	
	理想時間(分/人)	min	20.8	12.0	19.2	10.7	0.233	
		max	21.6	12.5	19.7	11.2	0.166	
インスリン療法(継続時)	糖尿病再診患者数(人/月)	min	23.5	42.2	51.7	79.1	0.002	
		max	25.2	44.2	53.7	81.9	0.002	
	再診診療時間(分/人)	min	16.4	11.3	13.0	8.5	0.004	
		max	16.6	11.6	13.2	8.5	0.004	
	理想時間(分/人)	min	25.0	18.2	22.8	14.2	0.256	
		max	25.0	18.2	23.2	14.3	0.327	

CareNet eリサーチ

CKD全国意識アンケート2009

CKDの診断基準

■ 日本人のGFR推算式

$$eGFR = 194 \times Cr^{-1.094} \times Age^{-0.287} \text{ (女性は} \times 0.739 \text{)}$$

■ 定義

- 下記のいずれか、または両方が3ヵ月以上持続する
1. 尿異常、画像診断、血液、病理で腎障害の存在が明らか
—特に蛋白尿の存在が重要—
 2. $GFR < 60 \text{ mL/min/1.73m}^2$

■ ステージ分類

単位: mL/min/1.73m²

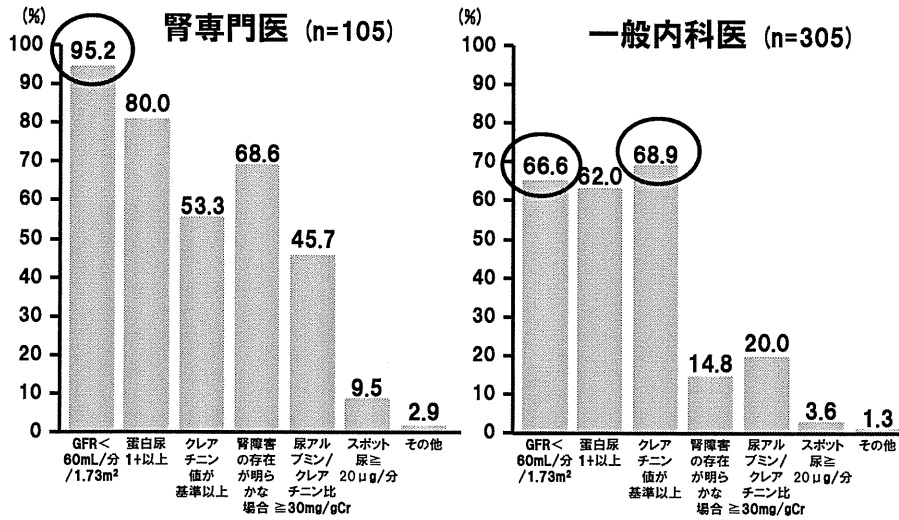
病期ステージ	重症度の説明	進行度による分類GFR
	ハイリスク群	$\geq 90^*$
1	腎障害は存在するが、GFRは正常または亢進	≥ 90
2	腎障害が存在し、GFR軽度低下	60~89
3	GFR中等度低下	30~59
4	GFR高度低下	15~29
5	腎不全	< 15

* CKDのリスクファクターを有する状態で透析患者(血液透析、腹膜透析)の場合にはD、移植患者の場合にはTをつける

日本腎臓学会編:CKD診療ガイド, 東京医学社, 2009より引用.

調査データ

CKD診断の基準にしている指標の状況

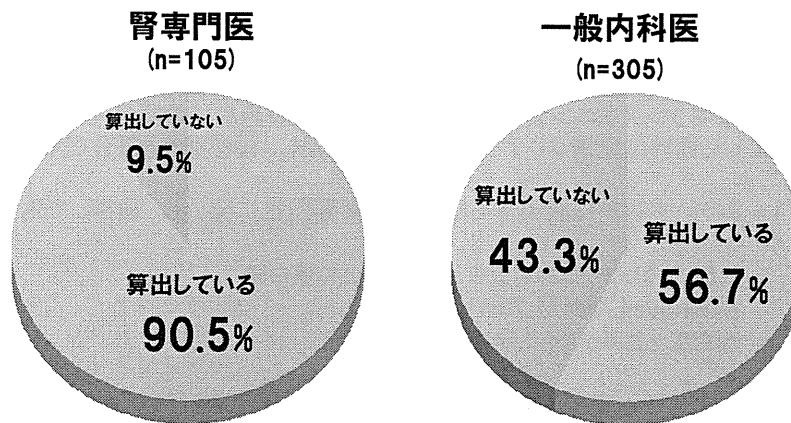


対象 一般内科医（「内科」を第一標榜とし、20床未満の医療機関に勤務し、かつ高血圧症例を月10例以上診察している医師）
腎専門医（腎臓内科を第一標榜とし、かつ透析患者が全症例の半分以下である医師）

CareNet eリサーチ CKD全国意識アンケート2009より

調査データ

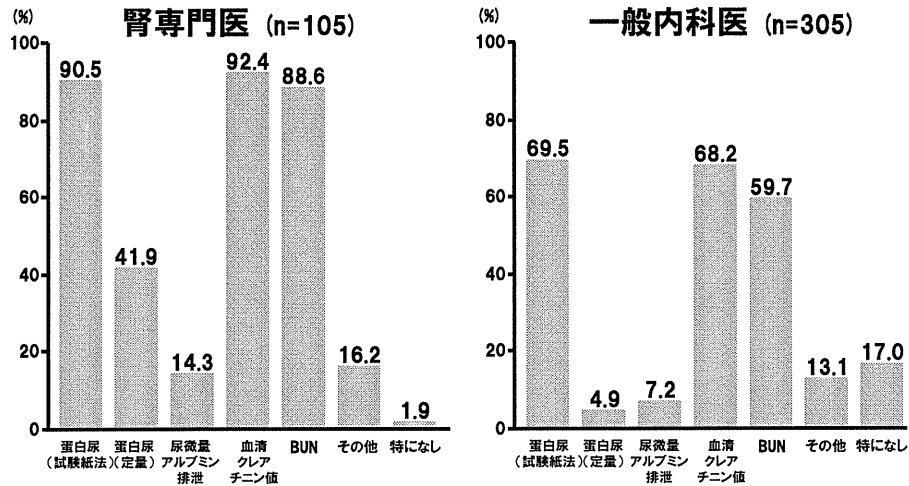
eGFR算出の有無



対象 一般内科医（「内科」を第一標榜とし、20床未満の医療機関に勤務し、かつ高血圧症例を月10例以上診察している医師）
腎専門医（腎臓内科を第一標榜とし、かつ透析患者が全症例の半分以下である医師）

CareNet eリサーチ CKD全国意識アンケート2009より

高血圧患者の初診時に実施している検査状況



対象 一般内科医（「内科」を第一標榜とし、20床未満の医療機関に勤務し、かつ高血圧症例を月10例以上診察している医師）
腎専門医（腎臓内科を第一標榜とし、かつ透析患者が全症例の半分以下である医師）

CareNet eリサーチ CKD全国意識アンケート2009より

腎専門医に紹介するタイミング

- 健診などで、検尿とeGFRに異常があれば早期にかかりつけ医へ紹介する
- かかりつけ医では検尿（蛋白尿、血尿）を行い、尿蛋白陽性では尿中蛋白量、尿中クレアチニン濃度よりg/gクレアチニン濃度での評価することが望ましい。同時に血清クレアチニン濃度を測定し、腎機能をeGFRで評価する
- 1～3のいずれかに該当するCKDは腎臓専門医に紹介し、連携して治療する
 1. 0.5g/gクレアチニン以上または2+以上の蛋白尿
 2. eGFR 50mL/min/1.73m²未満
 3. 蛋白尿と血尿がともに陽性（1+以上）

CKDステージ1～3は基本的にはかかりつけ医で治療を続ける
進行が速い場合や血糖および血圧のコントロールが不良な場合には、
腎臓専門医または糖尿病腎専門医に相談し、治療方針を検討する

日本腎臓学会編：CKD診療ガイド，東京医学社，2009より引用。

